

未来をつなぐ

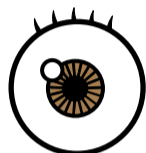


筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
茨城県厚生連 総合病院 水戸協同病院



すまいるみと

視界良好ですか？



の病気のこともなり。おまかせ下され。

眼科手術について



准教授 佐藤 正樹

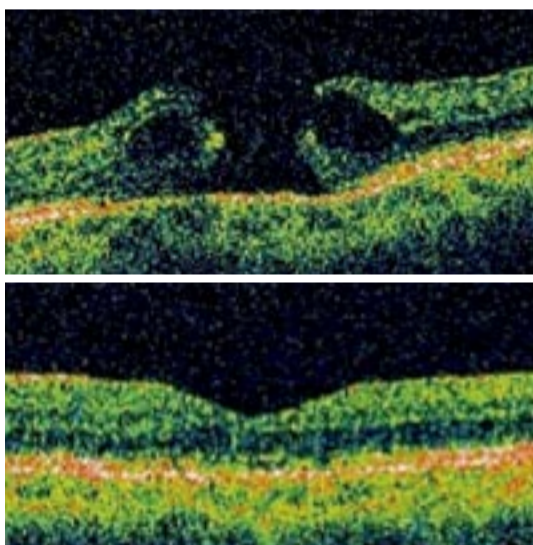
現在当科では、眼科診療一般、網膜レーザー光凝固、外眼部・涙道手術をはじめ、角膜移植・白内障・重度緑内障・網膜剥離・黄斑部疾患・増殖糖尿病網膜症など、あらゆる内眼手術に対応しており、非常に良好な手術成績を収めています。近年増加傾向にある加齢性黄斑変性に対しては、抗VEGF薬硝子体注入療法を積極的に施行しており、良好な治療効果が得られています。その他、ドライアイに対する涙点プラグ挿入・涙道閉塞に対するシリコンチューブ挿入・眼瞼痙攣に対するボトックス注入術・多焦点眼内レンズを用いた白内障手術なども行っております。また、眼底3次元画像診断装置の導入により、黄斑部網膜・緑内障における網膜神経線維層の詳細な観察が可能となりましたので、患者さんにご自身の眼の状態を具体的に把握して頂いております。動的・静的視野検査、眼底造影検査、両眼視機能検査、その他各種検査も完備しておりますので、症状がある方は勿論のこと、眼の病気になるていないか心配、などお気軽にすることがあれば、是非一度眼科外来を受診してみてください。

■主な手術・治療手技等
網膜硝子体手術

放置すれば血管新生緑内障を引き起こし最悪の場合は失明にいたる糖尿病網膜症、物がゆがんで見えてしまう黄斑前膜や黄斑円孔、裂孔原性網膜剥離、その他あらゆる網膜疾患



術前 術後
増殖糖尿病網膜症



術前 術後
黄斑円孔

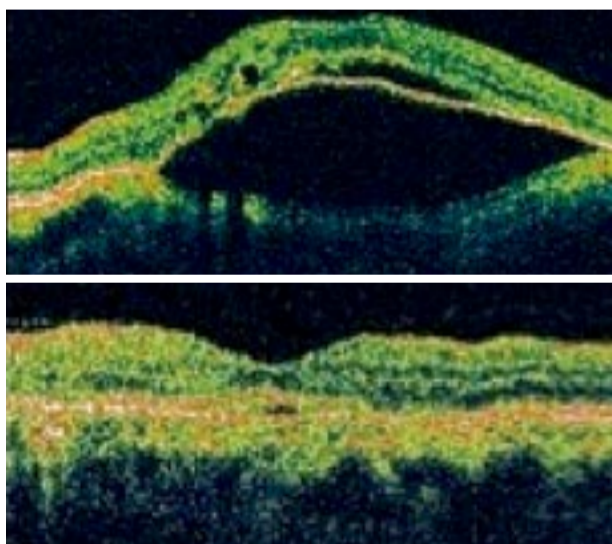
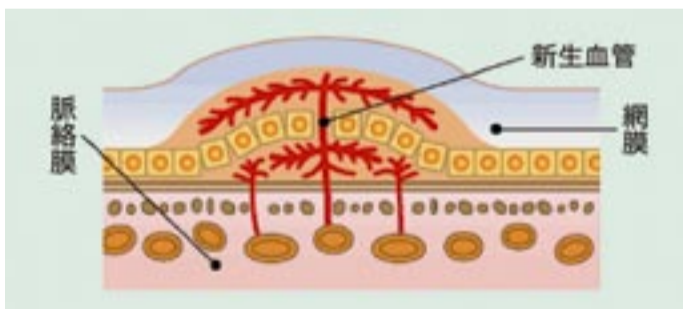
に対応しております。なお、軽症の黄斑疾患に対しては日帰り手術も可能です。

緑内障濾過手術

緑内障は眼の圧があがってしまい、視神経を圧迫して徐々に視野が欠損してしまう病気です。点眼治療でも眼圧が下がらない場合は手術の適応となります。緑内障手術とは、眼圧を低くするために眼のなかのお水である房水の、流れ出る出口を作ってあげる手術です。

抗VEGF療法

加齢黄斑変性は、眼底にある脈絡膜から網膜側へ正常では存在しない新生血管（脈絡膜新生血管）が発育する病気です。欧米では社会的失明の原因の第1位となっており、日本でも急激に増加しています。歪んで見えたり、重篤な視力・視野障害をきたします。手遅れとなると、見え方が元の状態に戻るのはかなり難しいと考えられています。新生血管の発生や成長には、VEGF（血管内皮細胞増殖因子）というタンパク質が重



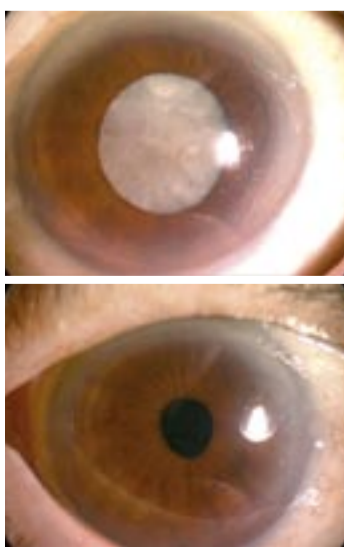
注入前

注入1週間後

要な役割を担っていることがわかってきます。抗VEGF薬を眼内に局所投与することにより、その作用を減弱させ、新生血管の成長を阻止することが可能です。

水晶体再建術

白内障は眼の水晶体が濁ってしまう病気です。視力を良くするためには手術が必要になります。当院では乱視矯正も兼ねた耳側角膜小切開白内障手術を用いており、日帰りもしくは1泊2日（片眼）の入院手術で行っております。



術前

術後

老視矯正も兼ねた多焦点眼内レンズを用いた白内障手術（術後眼鏡不要）も行っています。



（次頁へ続く）



その他の手術手技・検査

NSチューブ涙道挿入

涙点プラグ挿入

ボトックス注入

マルチカラーレーザー（網膜光凝固）

Nd:YAGレーザー（後発白内障）

蛍光眼底造影検査

静的・動的視野検査

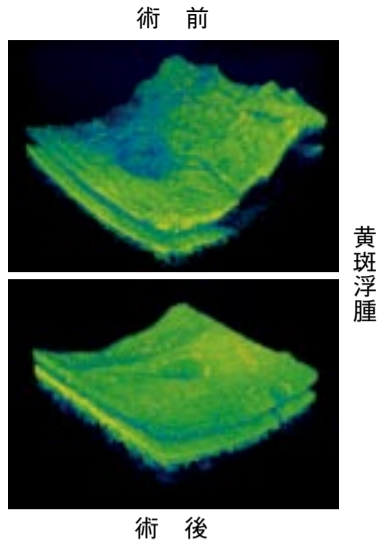
ヘス複視検査

斜視（両眼視機能）検査 など

眼底3次元画像解析装置

(3D-Optical Coherence Tomography: 3D-OCT)

を導入しました！



黄斑浮腫

散瞳せずに眼底撮影および網膜断面画像を同時に撮影します。これにより、黄斑疾患や緑内障性視神経乳頭・網膜神経線維層厚の他覚的な経時観察が行えます。

医師、スタッフ紹介

- 准教授 佐藤 正樹
- 眼科科長 矢部美香子
- 眼科医師 真壁 健一
- 視能訓練士 立見 厚子・小林智映子

耳鼻咽喉科紹介



耳鼻咽喉科 秋月 浩光

聴く、嗅ぐ、味わう、話す、食べる、飲む、そして呼吸をする・・・これらは人が安全・快適に生活するために不可欠な感覚機能・生



耳鼻咽喉科外来診察室 最新の診察機器を揃えております。

歯科口腔外科紹介



歯科口腔外科 鈴木 克年

歯科口腔外科の診療領域は、口腔、口唇、顎骨、唾液腺などです。現在当科では、主に智歯（親知らず）等の埋伏歯、嚢胞、顎骨炎、口腔粘膜疾患（口内炎等）、口腔・顎外傷などの診療を行っております。また、虚血性心

命維持機能といえます。耳・鼻・のどはとても精密な仕組みでそれら大切な機能を営んでいまして、ごくわずかな病変が大きな影響を及ぼすこととなります。

診療時間	午前8時～午後5時
休診日	日曜日、祝日
受付時間	午前8時～午後5時
初診料	1,000円
再診料	500円
検査料	別途
処方料	別途
手術料	別途
入院料	別途
その他	別途

日帰り手術用説明用紙 手術前後のスケジュールを分かりやすくご説明いたします。

耳鼻咽喉科はそんなデリケートな場所にできる病気を発見し治療する診療科です。水戸協同病院・筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター耳鼻咽喉科では、3名の常勤医師と1名の非常勤医師が診療に当たっています。さらに看護師2名、事務職員1名が外来を担当しています。当科は、筑波大学耳鼻咽喉科との協力体制を基に幅広い疾患に対応しています。そして、地域の開業医の先生方との迅速で密な連携を大切にしています。紹介状をお持ちの方は窓口でご提示下さい。

疾患や脳血管障害（心筋梗塞、脳梗塞等）で血液凝固阻止剤や抗血小板剤を服用されている場合でも、通常の抜歯は血液凝固阻止剤や抗血小板剤の服用を継続したまま行っております。

当科は原則として、予約制とさせていただきます。初診より予約可能です。受診ご希望の方は平日9時から17時までにご来院受付にご連絡下さい。（学会等で休診の場合があります）待ち時間短縮のためご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。



耳鼻咽喉ビデオスコープシステム NBI（峽帯域光観察）が可能な最新型の内視鏡です。

午前中は一般外来を行っています。急な耳痛や難聴、のどの痛み、眩暈、鼻づまり、いびき、しつこい耳鳴り、声がれ、のどの違和感や頸の腫れなど様々な患者様がいらつやいます。外来には2台の電子スコープを置き、鼓膜や鼻の中、喉の様子を細かく観察するとともに、患者様ご自身にその様子をご覧いただくことにより、分かりやすい病状説明を心がけています。午後には、喉頭がん、舌がん、咽頭がん、口腔がん、唾液腺がんおよび甲状腺がんなどの頭頸部腫瘍の患者様や、睡眠時無呼吸症候群の患者様向けに予約制の専門外来を行っております。また、甲状腺や頸部リンパ節を詳しく調べるための超音波検査と、のどの腫瘍の有無や嚥下機能を調べるための

病歴室の紹介

以前は、各診療科ごとに診療録が作成されていましたが、電子カルテの導入に伴い、1患者1診療録体制に変わりました。そこで、全患者様の診療録を1つの場所で管理することを目的とした病歴室が今年の4月に新設されました。

病歴室の主な業務は、診療録の「所在（アライバイ）管理」と「診療情報の管理」です。「所在管理」とは、全診療科で診療録を共有するため貸出先などを明確にして所在を確実に把握することです。これにより、診療録の紛失を防止し、閲覧や貸出の依頼に迅速に対応することが可能となります。

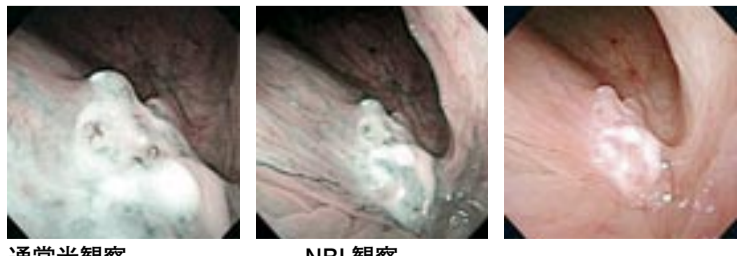
また、「診療情報の管理」とは、退院された患者様の傷病名、手術などの情報をもとに質的点検を行い、コーディングや症例検索、各種診療統計作成をすることです。これら診療情報を集約し、病院運営に反映さ

咽頭食道造影検査は医師が直接行い結果説明を行っております。その他、めまいの検査や顔面神経検査などを随時行っています。

当科は、中耳手術や頭頸部悪性腫瘍手術など専門性の高い手術を行っているほか、扁桃摘出術や鼻・副鼻腔手術、そして日帰り手術まで様々な手術を行っています。

耳鼻咽喉科外来では、患者様がご自身の病状をより良くご理解いただき、安心して治療を受けることができるよう努力しております。耳・鼻・のどでお困りの際には、お気軽にご相談ください。

写真4：喉頭早期癌の例



通常光観察 声帯に5ミリほどの不整な部分があります。

NBI観察 粘膜表層の血管を精密観察することにより診断精度を向上させます。

せることによって、病院機能の効率化や医療の質を高めることを目的としています。患者様と直接関わる業務ではありませんが、スタッフ5人で地下室で頑張っています。

医事課 寺門 知美



お酒と薬の話

お酒は「百薬の長」と言われます。でも一方では薬と飲み合わせが悪いとも。よくお酒を飲んでいて人は「麻酔がかりにくい」「薬の効が悪い」なんて言われたり。お酒は体に入ると肝臓で解毒されて外に出て行きま

薬の効果がいつもより強くなり易くなるのです。それがもとで副作用が出易くなるのです。お酒自体は脳の働きを鈍くします。睡眠薬なども同様の働きをするため、一緒に体に入ると必要以上に強い効果がでて副作用へとつながらる場合もあります。普段は酒豪の人でも下戸と同じような状態になってしまう薬もありま

薬剤部 藤田 真澄



納涼会で絆 さらに強く

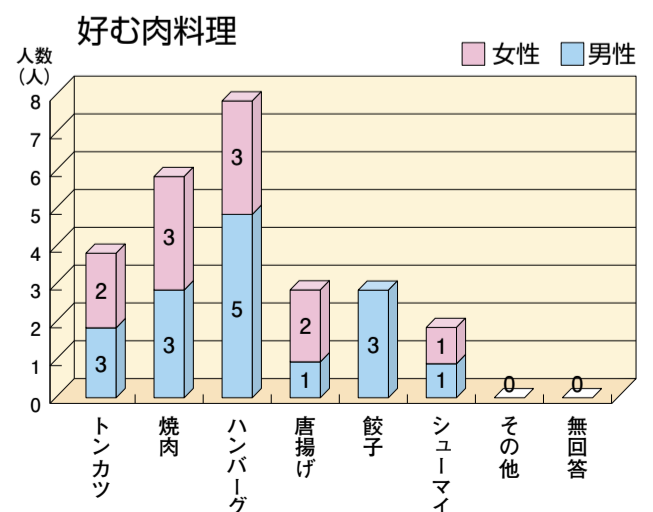
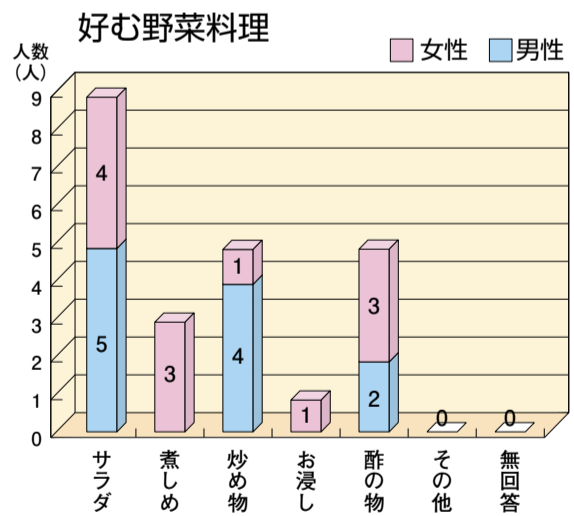
水戸地域医療教育センターを開設し、忙しい業務の中全職員の労をねぎらうために8月19日と21日に納涼会が行われました。参加者は2日間で201名の参加があり、楽しい夏の夜のひと時を過ごすことができました。又職員同士の交流も深まり、「日本有数の地域医療の研修センター」を目指すことを誓いました。



嗜好調査を行いました

栄養部では、年に一度、一般常食喫食患者様を対象に嗜好調査を行なっています。今年度も七月上旬にアンケート方式で実施いたしました。調査結果より、「病院の食事は治療の一つだと思えますか？」との問いに対し、全ての方が「はい」と答えました。昨今の健康ブームの影響からか、食事・栄養が健康の維持に大きな影響を与えるという認識が広まったためと考えられます。他に、好まれる料理や喫食率なども知ることができ、今後の献立作り役に立てられる調査となりました。ご協力ありがとうございました。

栄養部 間宮 沙織



ニューフェイス

仲間とともに

春の定期人事異動により着任してから早くも五か月が過ぎようとしています。と同時に、水戸協同病院内に筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターが発足し、この記念すべき年に水戸に赴任できたことをうれしく思っています。

患者様に「ネットで検索し、この病院を選んできたんだよ。」と声をかけていただいたのも数回。地域医療に大きく貢献できる病院にかわってきたのを実感する毎日です。

先生方、また周囲のスタッフに指導を受け、患者様にとって最善の医療を提供していけるチーム医療の一員となれるよう、日々努力精進していきたいです。

臨床検査部 上野 幸恵

昨年7月より勤めだして、あつという間に一年が過ぎました。

看護職に携わりたくて、この水戸協同病院のナースエードとして勤務することになり、未経験だった私はとにかく業務を覚えて、病棟のサポートができる様に必死で毎日を送ってきました。

業務内容は結構ハードで、特に今年の4月からは更に忙しくなり、元気が取柄の私も、正直まいっていました。でも、7月からは新しくナースエードさんも加わり、今は本当に安心していています。

患者さんとも関わりの中で、入院時や手術後はあんなに辛そうだったのに、一日一日痛みも顔色も良くなり元気になっていく姿を見ることができたり、いろんなお話をしたりする事が、私自身とても喜びを感じるところです。

そして患者さんに「いつも笑顔で声をかけてくれてありがとう」などと感謝の言葉をもらうと逆に励みになって、ますますエネルギーが湧いてくる思いになります。

それに何よりもスタッフの方々が皆気持ちの良い方ばかりで、励ましの言葉をかけてくれたり、明るく和やかな職場なので私も気持ちよく働くことができます。

今後も誠意とまごころを持って、笑顔で頑張っていきますので宜しくお願い致します。

5東 ナースエード 横枕 優子



入職して5ヶ月が過ぎようとしています。私は以前勤めていた病院を、家庭と仕事の両立の難しさという理由でやめ、約1年間は自宅近くのクリニックに勤務していました。

子育てしながらの仕事はとても時間にも余裕があり充実していましたが、看護師として仕事をしていく中で、何か物足りなさを感じ始め、もう一度頑張ってみようとの病院に決めました。

ところが入職したものの、なんて毎日が忙しい職場なんだろう。誰もが遅くまで残っていて、正直私は続けていけないのかなという不安でしたが、病棟のスタッフの皆さんが、自分の業務だけでさえ忙しいのに、新人の私達に一つ一つ教えてくれ、時にはまだ幼い子供を持つ私に対して気遣いの言葉をかけてくれたりと、ありがたく嬉しく思います。

4月に一緒に配属になった4人の仲間と共に励まし、相談しながら、そして先輩看護師たちに励まされ毎日頑張っているところです。

まだまだ迷惑をかけると思いますがよろしくお願いたします。

5東 古川 陽子

リハビリテーション科の 新人紹介

リハビリテーション科は今年度4月から2人の新人が加わり、総勢8人体制になりました。今回は新人2人を紹介します。

「4月から水戸協同病院に勤務することになりました。茨城県出身、作業療法士の吉田由香里です。作業療法とは、脳梗塞などの中枢疾患、外傷などによる整形疾患により心身機能の低下した患者さんや、統合失調症やうつ病などの精神疾患の患者さんなど、幅広い疾患の方が対象となります。そして、その方の持つ最大能力を生かせるように、日常生活動作を中心とした応用的動作能力または社会適応能力の回復を図るために様々な作業を通して訓練を行います。身体疾患の作業療法では、上肢の有用な機能を回復し促進させるための訓練を行います。また、自動具の作成を行い、動作を行いやすくする工夫もします。精神疾患の作業療法は、対人関係能力の改善や作業能力の向上させるため作業活動を通して指導・援助していきます。一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。」

作業療法士 吉田由香里

「千葉出身、京都育ち、本籍は長崎の理学療法士、松尾節子です。私は昨年実習生とし

水戸黄門まつりにあわせて 就職説明会を実施しました

8月7日夕方院内会議室にて就職説明会を開催し、12名の方に参加いただきました。この日は水戸市の恒例行事である「水戸黄門まつり」の開催日であり、賑わう市街での祭りに足を運んだ後、説明会に来た参加者もいらつしました。

説明会の冒頭、平野篤病院長から、筑波大学附属病院水戸地域医療センターの概要について説明しました。水戸協同病院には、病院の中に大学の一部がある状態です。つまり医療機関である同時に教育機関でもあり、看護師としてスキルアップしていくためには最適な病院です。続いて渡邊重行水戸地域医療教育センター

て当院リハビリテーション科で7週間の実習をさせていただきました。理学療法士の先生方はとても優しく、かつ個性的で、それぞれの先生から学ぶことが多く、7週間では物足りないと感じました。

当院では運動器リハを中心に、小学生から100歳近い高齢者まで、幅広い年齢層の患者様と触れ合う機会があり、患者様の目的に応じ、対応や注意点も様々です。知識や技術はもちろんです、患者様との接し方や注意の方法、会話の盛り上げ方なども含めて、日々先生方から学んでいます。運動器や脳血管をはじめ、様々

「茨城県アスレティックリハビリテーション研究会」の活動報告

障害の患者取扱数は多く、県内でもトップクラスであり、他院からもスポーツ選手のリハビリテーション（以下リハ）に関心のある理学療法士やトレーナーが研修に訪れています。スポーツ現場の現状は指導者や父兄、そして選手本人のケガに対する知識や認識が不足している場合が多く、結果その後のケアが不十分になり、競技復帰まで長期間を要してしまうケースも多く、もう少し早く専門医が在籍する医療機関を受診したり、障害予防の正しいトレーニング指導を受けていたら、スポーツ活動を中止したり、競技をやめるようなことはなかったのではと治療をしながら非常に残念な気持ちになる事も少なくありません。

そこで当院が中心となり県内の理学療法士の有志が集まって、スポーツ外傷、障害に対するリハの知識・技術の向上を目的とした「茨城県アスレティックリハビリテーション研究会」を2008年3月に設立しました。今までに当院の平野院長をはじめとするスポーツ医学に精通した講師を招聘して6回の勉強会を開催しました。この勉強会をきっかけにスポーツ現場でのトレーナー活動を始めた仲間も増え始めました。将来的には地域のスポーツ傷害予防活動や健康運動指導。県内競技会場、団体、インターハイ等のトレーナー派遣や総合型地域スポーツクラブでのアスリハ指導を目標に活動していきたいと考えています。



な疾患・年齢の患者様に対応でき、先生方に負けないような個性をもった理学療法士を目指し頑張りますのでよろしくお願い致します。」

理学療法士 松尾 節子



長から、開業医との連携などを説明し、地域全体の医療の向上を図る水戸協同病院の取り組みについて説明しました。水戸協同病院は患者さんからも感謝される病院であると同時に地元医療機関からも感謝される病院を目指しています。看護部からは、看護体制の説明や、各病棟・部署から業務の概要をご紹介させていただきました。水戸協同病院は非常にやりが

いのある職場です。現在、許可病床数401床、4病棟、看護師数141名（平成21年8月7日現在パート含）の体制で、地域との医療機関との連携に加え、院内では医師間の高度な連携を実践し、患者さんの治療に取り組んでいます。また、今回は説明会の後に、お食事を用意しました。本日は屋外で、黄門まつりに合わせて行われる花火大会を皆さんと鑑賞しながら、と思ったのですが、突然の雷雨に見舞われてしまいました。残念です。今回の花火大会は中止でしたが、水戸協同病院は市内で開催される花火大会を鑑賞するには実は絶好の立地にあります。水戸の夏の風物詩でもある水戸黄門祭りの花火大会は、病室の患者さんにも癒しを届けてくれます。また、今回は記念にブーケをご用意させていただきました。

病気の予防は健康管理から

特定健診一年目を振り返って

平成20年4月に「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づいて行われた特定健診・特定保健指導は2年目を迎えました。初年度は不慣れな事もあり、健診の段取りや遂行、また、その報酬請求などの面ですいぶんと苦難させられました。なかでも請求に関しては、当院のシステムが新規導入であったことや請求先である支払基金、国保連合会とのシステムの不適合があり、毎月数回足を運びました。当初は手探り状態で受け入れ数も少数でしたが、慣れもあり2年目に入り、倍以上の受診数となってきています。健診そのものの内容はさほど難しくはありませんが、特定健診独自の問診や評価など簡単ではありません。受診された方々に話を伺ってみると、医師の問診があり、いろいろと相談ができるけれど、もう少し多くの検査項目を行って欲しいといった意見が聞かれます。特定健診が意図する目的を受診者の方々に広く浸透させる必要があるように思われます。さらに特定保健指導については、予定されている新棟オープン時に開始できるよう検討しています。

<健診種目一覧>

人間ドック	一日ドック・二日ドック・脳ドック・肺ドック
協会けんぽ	全国健康保険協会管掌生活習慣病予防健診
特定健診	水戸市国民健康保険特定健康診査 健康保険組合被扶養者特定健康診査 全国健康保険協会被扶養者特定健康診査
農協職員	生活習慣病予防健診（施設・巡回）
農協組合員	農業従事者健診（巡回）
事業所	事業所定期健診
一般	受診・採用時健診等
労働基準監督署	石綿、じん肺、特殊化学物質



<健康診断を受けていますか？>

近年、平均寿命が延び、生活習慣が変化し食生活の乱れや運動不足などが原因で発症する心臓病、糖尿病、高血圧、高脂血症は、自覚症状が出にくいために知らず知らずのうちに進行します。そのため、早期発見と生活改善が大切となり、定期的な健康診断の受診が必要不可欠といえます。また、以前の健診結果と比較して、現在の健康状態を確認することも大切です。健康管理センターでは、各種健康診断を実施しています。健診種目一覧以外の健診につきましてはお気軽に健康管理センターまでお問い合わせ下さい。

健康管理センター（直通）
TEL 029-233-9930
担当 綿引